



<学校だより>

七葉松



第5号

平成29年8月29日
新発田市立七葉中学校

体育祭 目前に迫る！ 各組活動のリーダーに聞きました

赤組 応援リーダー

赤組応援団長になった伊皆清利です。体育祭の応援リーダーは過去に2回やりましたが、団長はもちろん初めてです。今はまだ完璧とはいえない応援の仕上がりですが、副団長や他の応援リーダーにも支えてもらって、仕上げていきたいです。本番では最高の応援で、赤組のみんなが最高のパフォーマンスになるようにしたいです。協力よろしくお願いします。



青組 応援リーダー

体育祭では、青組のみんななら力を合わせて四冠を取れると信じています。なので、自分から率先してみんなをまとめてリードして、いろいろな競技でみんながベストを尽くせるように応援します。そして、みんなで四冠取りたいです。



赤組 パネルリーダー

今年の赤組のパネルのデザインは「天狗」です。文字は「舞」で、全体的に舞うような躍動感を出すようにしました。天狗の絵がとても細かくて、色を決めることも塗ることも、とても困難でした。背景のもみじのグラデーションや炎など、描くのにかかった所が沢山ありました。大変なことが多かったけど、パネルのメンバーで協力して作業できました。



青組 パネルリーダー

雲外蒼天。困難を乗り越え、努力すれば快い青空が望めるという意味です。大きな翼で空を飛ぶペガサス。みんなで、たくさん悩んだり、笑ったりしながら作りあげたパネルにはたくさんの思い出がつまっています。ペガサスの力強い翼で、たくさんの困難や苦しみを乗り越えた先に、勝利という輝かしい青空があることを信じて、がんばりたいと思います！



今後の主な行事

- 2日(土) 体育祭(雨天→授業)
- 4日(月) 体育祭の代休
- 11日(月) 保護者預かり金口座振替日
- 12日(火)～19日(火) 部活動休止
- 19日(火)・20日(水) 中間テスト
- 25日(月)～衣替え
- 10月4日(水) 市内新人戦

小道具リーダー 工夫をしたところ

青組

団体行動したとき、人文字がきちんと形になるように小道具の大きさや形を工夫しました。



赤組

ボンボンの色が綺麗に見えるように赤だけでなく黄色を少し混ぜたところと、動きが綺麗に見えるように長さを工夫しました。



7月22日(土)「少年の主張大会」で2年生の女子が七葉中学校代表として発表した主張文が大変優れた内容なので、裏面に全文を掲載しました。

コミュニケーション

「コミュニケーションとか、友達とかって、そんなに大切なものですか。」

「友達を作るには、コミュニケーションをとるしかないんですか。」

小学校四、五年生の頃に毎日のように私が思うことでした。コミュニケーションはそんなに大切にしないでいいのではないのでしょうか。友達はどうやって作って、どうなったら「友達」と呼べるのでしょうか。

私は、話すことが苦手な子でした。今でこそ友達と話すことができるようになりましたが、昔はひどく、時には学校で一言も発さない日もありました。せっかく同じクラスの人が話しかけてくれても、「ありがとう」の一言も言えませんでした。でも、話したくないわけじゃないんです。話したいことはたくさんあります。自分のこと、家族のこと、皆のこと。心の中では、これから話したい内容も、話し方も全部まとまりがついているのに、言葉がのどから出てきてくれません。今まで全然しゃべらなかつたのに、急にしゃべり出して気持ち悪がられたらどうしよう。伝わらなかつたらどうしよう。そうして結局私は、何も言えませんでした。悔しかったです。どうして私は、こんなこともできないんだろうか。ずっとそんなふうに思っていました。コミュニケーションをとることは、自分にとってとても難しいことなのでした。

そう思っている人は、きっと私だけではありません。中には、しゃべりたくないだけの人もいるかもしれませんが、話し出せないだけで、本当は今すぐにでも誰かと会話をしたいと思っている人がいるはずです。そういう人には、無理にコミュニケーションを取らせないほうがいいと思います。ただ、時々話しかけて、会話をするチャンスをあげれば、それでいいと思います。そうすれば、いつか自分から人に話しかけることができるようになると思います。

私は、今でも友達が多いほうではありません。同じ学年の友達は、まだ二桁もいません。私が友達だと思っている人たちは、向こうでは私を友達だと思っているんだろうか。この考えがいつも頭の中をよぎります。

「友達」とは、いったいどのような仲の人を言うのでしょうか。私は、友達とは自分の気持ちを気軽に話せる人のことを言うのではないかと思

ます。他の人たちが仲良さそうに話しているのを見て、仲がいいんだなあと思っていたら、その一人が相手の悪口みたいなことを言っているところを見ました。「えっ？」と思いました。あんなに仲良さそうに話していたのに。これは自意識過剰かもしれませんが、自分ももしかしたら陰で悪口を言われているのかもしれないと思って、ちょっと怖くなりました。仲良さそうな人たちは、結局のところ仲が良さそうだけでしかないのだろうか。自分が「友達」だと思っている人も、自分がそう思っているだけでしかないのだろうか。つくづく他人の考えが分かるようになるマシーンがあったらどれだけいいだろうと思います。

人間は、言葉に出さないと何も伝わりません。だから、結局は、コミュニケーションは大事なんだと思い知らされます。友達に対しても、不安に思っていないで、ただ一言「私のこと、どう思ってる？」と聞けば済む話で、私が思っていることもただの考えすぎでしかないのかもしれない。

実は、私の母は中国人です。だから、私も小学校低学年の何年かは中国に住んでいたことがあります。その時も家族以外の人と話をすることができず一人でした。私は、「急に慣れないところに変わって、慣れない言葉を使わなくちゃいけないせいで、誰とも話せないんだ。」と、友達ができないのを中国へ連れていった母のせいにしたこともありました。でも、小学校四年生の時に日本に帰ってきて、同じクラスの人が話しかけてくれたのにもかかわらず、話を返せない自分にはっとしました。人と話せないのは言葉のせいではない、完全に自分のせいなのだ。以前から、自分の性格が内気なことは分かっていたのですが、人は何か間違いをおかした時、他のもののせいにしてしまうのです。自分の間違いに気付くのは案外簡単なことかもしれないけれど、自分の間違いを正すのは本当に難しいことなのです。

今まで私は、逃げていたのだと思います。コミュニケーションを取ることから。だから、これからは逃げないようにしたいと思います。消極的な性格なので、すぐには変わらないと思いますが、「話せない自分」を、時間をかけて変えていきたいと思います。まずはコミュニケーションを、友達を、大切にできるようにして、悔いの残らない学校生活を送れるようにしていきたいです。